

# がっこうきゅうしょくおうえんだん 学校給食応援団だより



Q 学校給食応援団とは？

A 学校給食応援団とはみんなが食べている給食のために野菜や果物を育てて運んでくれている団体のことです。

学校給食応援団は、佐久・臼田・浅科・望月にそれぞれあり、100人近くの団員が活動しています。

給食を食べるときには学校給食応援団のみなさんの食材が使われているのかなと少し意識して食べてみてください。



新型コロナウイルスの影響の為、去年はみんなと会う機会はありませんでした。学校給食応援団はみんなの給食のために活動していました。給食をいただく前に手洗い、消毒液で手をキレイにして、おいしくいただきます。



## 各応援団

### マネージャー紹介！！

各学校給食応援団にはマネージャーが一人ずついます。マネージャーのみなさんは学校給食応援団の団員が収穫した野菜を集め、給食センターへ届けています。今回は各応援団のマネージャーの皆さんから一言いただいています。



佐久学校給食応援団  
榎澤 孝子さん

佐久学校給食応援団は、40軒の生産農家で構成され、キャベツ・きゅうり・りんごなどの約20品目の野菜や果物を出荷しています。是非、おいしく食べていただけたらうれしいです。



浅科学校給食応援団  
小林 正高さん

皆さんに安心、安全でおいしい野菜を納入するために、野菜について勉強をしています。感謝の気持ちを忘れずに給食を残さないで食べて、元気に育ててください。



臼田学校給食応援団  
神津 有葉さん

昨年からおおきく変わってしまっただ給食風景に、私たちも心を痛めています。せめておいしい給食を提供する助けになるように、今年も団員一同頑張っています。



望月学校給食応援団  
竹内 晃さん

一つ一つの野菜には、生産者の思いが込められています。そのような思いを感じながら、給食を食べていただけたら、幸いです。

# かぶ、大根の収穫体験をしたよ！ (臼田小学校)

臼田小学校 3年生が臼田学校給食応援団の団員である池田さんが働く

佐久市有機農業研究協議会の畑でかぶ、大根を収穫しました！

また、収穫の後には池田さんに質問会をしました！



例年に比べ、かぶも大根もたくさん収穫することができました。大根はとても大きかったため、一つの大根を二人で掘りました。収穫したかぶと大根は家に持ち帰りました。

収穫の後には新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクを着用し、臼田学校給食応援団の池田さんに事前に準備していた質問をして、農業について勉強をしました。一部の質問を紹介します。



Q 何品目の野菜を育てるのは大変ではないですか？

A 大変だけど楽しいですよ。昨年はトマトを13種類育てましたが、どの品種が人気なのか分かり、来年はこの品種を育てれば良いというのが分かるので、楽しいです。



Q 野菜はどこに出荷していますか。

A みなさんに食べてもらうために給食センターに出荷していますが、それだけでなく、病院、直売所、農業祭などにも出荷しています。



## 池田さんから一言！

皆さんお元気ですか？9月に大根とかぶのとても小さな種を穴に3粒まき、20日後どれを残すか悩んだ間引き、11月には二人一組で力を合わせて収穫しましたね。昨年は皆さんのおかげで、いつもより大きく育ち、味も良かったです。農場では40年以上前から、地球に優しい方法で野菜を育てています。これから世界的に食糧不足になると言われており、多くの皆さんが野菜好きな「種をまく人」になることを願っています。

## がっこうきゅうしょく おも で 学校給食の思い出



がっこうきゅうしょくあさしな (学校給食浅科センター) 小林 早百合 先生

小中学生の頃、給食の時間は学生生活の中で、楽しみの一つでした。おかわりのじゃんけんには率先して参加するほど給食が大好きでした。しかし、好き嫌いが全くなかったというわけではなく、給食のメニューの中には苦手なものもありました。クラスのみんなとお話ししながら楽しく食べたり、友達がおいしそうに食べているのを見たりしたことで、食べられるようになったものもあります。友達が苦手なものを食べられるようにとみんなで励ましながら食べたことも良い思い出です。当時の私は、「苦手なものは出さないでほしいな」と思っていました。しかし、私たちの健康を考えてくれていたことはもちろん、給食を通して色々なことを教えてくれていたのだなと、今改めて感じています。